

さくらさんの ☁️ 史跡めぐり

だざいふしな い こあざ し 太宰府市内の小字を知っているかな？

こんかい、とおのこがちく かんせおんじちく いちぶ
今回は、通古賀地区と観世音寺地区の一部の
こあざめい ひょうせき しょうかい
小字名を、標石とともに紹介します。

通古賀地区



「つるはた・つるのはた」と呼ばれています。伝説「鶴の屋敷」にまつわる地名です。



「おうぎやしき」と呼ばれ、王城神社にあります。「国衙の跡」または「長者屋敷の跡」があったところといわれています。



「とうれんじ」と呼ばれ、天台宗を開いた最澄の筑紫七薬師を収めた場所の一つとされています。東林寺ともいわれています。

(参考文献：とおのこが風土記)

観世音寺地区



「つきやま」と呼ばれ、「辰山(ときやま)」ともいいます。古代に、漏刻台(水時計)があったところだといわれています。



「がっきゅう」「がくぎょう」とも呼ばれ、古代に学校院があったところだといわれています。

だざいふしな い かぞ
太宰府市内には、数えきれないほどの小字が存在します。なぜそういう名前なのかかわからない小字名もあります。みんなも見かけたら、昔の様子を思い浮かべて、想像してみてくださいね。

もんだい
では問題です！
みずきしょう ちいさ こあざ
水城小がある地域の小字は
なんというでしょう？
がくぎょういんちゅうまえ てい
ヒント：学院院中前のバス停
わき きゆう こあざひょうせき
脇に旧小字標石があるよ。
こうか
校歌にも出てくるよ！

